

総合分析

試験区分 一般（前期）

制限時間 75分（理科2科150分） 大問数 全3問

合格に要する能力（5段階）



出題分野

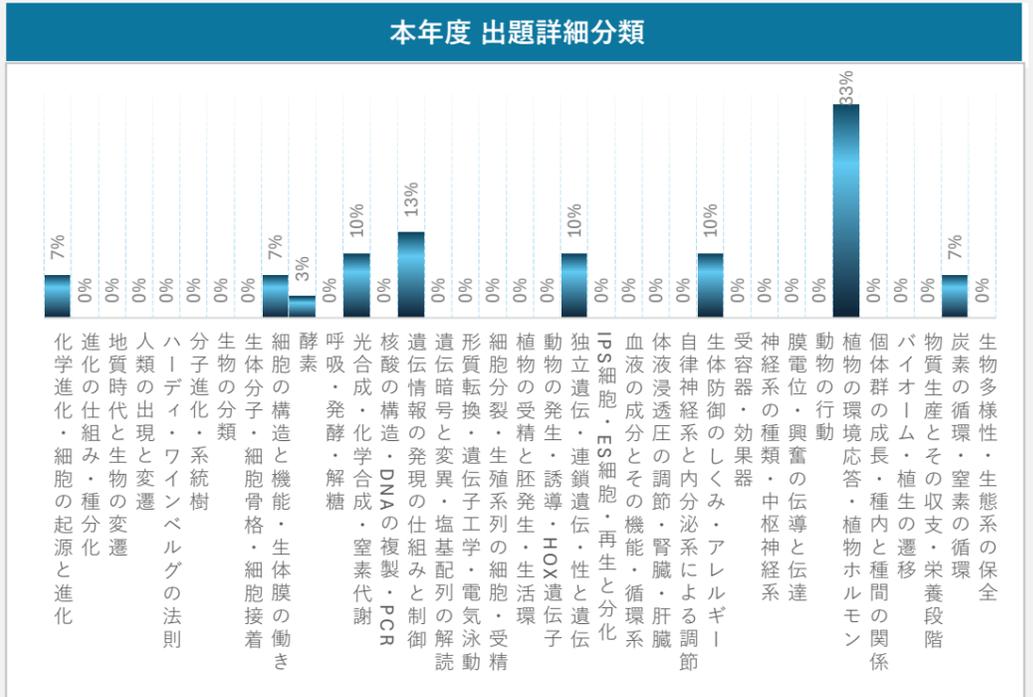
系統と進化	7%
生命現象と物質	20%
遺伝子	13%
生殖と発生	10%
生物の環境応答	10%
生態	40%

本年度 解答形式

論述 100%

本年度出題テーマ一覧

第1問	光合成生物の共生
第2問	ABO式血液型, Rh式血液型不適合
第3問	植物の環境応答



合格に要する能力（5段階）

能力	スコア	説明
知識力	4.0	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	4.0	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	3.3	図表データなどから分析・解析する力
計算力	1.0	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	2.8	難度を判断し、適切に時間配分する力

特殊問題の有無 数理生物学なし 生物物理なし ノーベル賞なし 範囲外問題なし 長文論述あり

特記事項 特になし

総合評価

難度	3.1	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	64%
分量	75分	完答に要する時間（制限時間は75分）	標準	標準	

入試の特徴と対策 標準的なバランスのよい問題で、高校での学習で十分に対応できる。

入試から見る 大学が求める学生像 全体的に知識で解答できる問題で構成されており、ここでミスしてしまうと合格は遠のいてしまう。大前提として、短答知識問題は完璧に対応していきたい。油断なく、まずは基礎的なことを完璧に遂行できる特性が求められる。また、論述量も多いため、端的に自分の考えをまとめる能力も求められているだろう。